

ずも おお住うの家 OPEN HOUSE

3/6 [sat] · 3/7 [sun]

am 10:00 ~ pm 5:00

【Concept】

昔ながらの街並みに、南と西を接道とする良好な敷地条件に対して、建物を北東に配し、西側を駐車スペースとすることで西日対策を講じています。また、南側に大きくとった余白は、アウトドアを趣味とされる施主様のフレキシブルスペースと考えています。

PlanはLDKを中心としたシンプルな平面構成ながら、造作キッチンカウンターを少し高めに設定することで、適度にプライベートゾーンと家事ゾーンを分離しています。家事ゾーンは回遊性を高めることで、通風を確保し、(子供を見ながら・洗濯しながら、etc...)「ながら仕事」を可能とする、家事動線の2WAY化。キッチン隣にある洗面室は、ウォークインクローゼットと脱衣室とを隣接させた、室内干しに最適な空間としています。ベッドスペースが無く、掃除もしやすい収納力抜群の造り付け棚、壁全面に配したベグボードetc、働く女性に優しいプランニングもしています。

将来的に植栽や日隠し柵etc充実させることで、適度にプライバシーを保ちながら、LDK〜ウッドデッキ〜庭と外部に向けて視界の広がりと抜けのある、室内空間と外部空間を緩やかにつないだ、奥行きあるプランとなるよう考えています。

【Exterior】

屋根材は「ガルバリウム鋼板」を採用。ファサードに対して重心を抑えた低く深い軒先は、建物に安定感と奥行きを与え、緩勾配の伸びやかな屋根ラインが、静かな街並みに溶け込むように考えています。「ガルバ種」「オリジナルポスト口」「インターフォン表札」etcディテールを意識したパーツで装い、使用する色彩を絞ることによりスッキリとした印象の外観に取めています。外壁材には、左官壁を採用。陽光の透いて豊かな表情をみせる「そとん壁」は高耐久で25年間メンテナンスフリーと言われる良材です。子供達の成長を見つめながら、経年変化によるエイジング効果で、周囲の街並みと調和されると考えています。

【Interior】

荒井製材所と荒井工務店が、共通した考えをもとに厳選した県産材(杉・松)を、適材適所に配した「あわしの木組み」が見どころ。家具や装飾品をトータルに考え、ディテールと素材を大切に「スチール部材」「キャブペ」「輸入ガラス」etc…の異素材を木材と融合させることで、オリジナルの居心地の良い「上質な空間」を装います。

家具には「ナラ」や「ケヤキ」などの広葉樹を使用。造り付けの家具を大工で、ダイニングテーブルやリビングテーブルは家具職人で作成してもらっています。家具は毎日近くで出し、体で直に触れるもの。お客様とたくさん話をさせていただき、住空間になじむ家具をセレクトしていくことが大事だと考えています。

— 楽しんで暮らす家 —

新型コロナウイルス 感染予防対策について

ご来場のお客様へのお願い

- 会場内でのマスクの着用をお願いします。
- 工務店スタッフもマスクの着用とさせていただきます。
- 会場内へ入られる際はアルコール消毒、手袋の着用をお願いします。

新伝統構法

— 本物の木組みの家 —

- 四寸角貫により、家全体を木格子のように架構します。
- 柱と柱をつなぐものは、土台や梁だけでなく、四寸角貫を主とした指鴨居等の横材です。
- 柱を独立した、垂直荷重だけを負担する部材とせず、横材との連結により、柱の曲げ抵抗を最大限に発揮させ、地震力を負担する柱とします。
- 在来工法の柱とは、大きく意味の違った部材とします。
- 地震力を負担する柱は、当然、骨太な柱となります。
- 金物依存の少ない、耐久性の高い「本物の木組みの家」です。ぜひ御来場いただき、「本物の木組みの家」を体感してみてください。



ずも
おお住うの家

株式会社 荒井工務店

〒682-0812 倉吉市下田中町 882
TEL. 0858-22-7744 E-mail info@arai-koumuten.jp
<http://www.arai-koumuten.jp/>